

北日本漁業経済学会 ニュースレター

北日本漁業経済学会では、昨年の総会でお認め頂いた春季研究集会を下記の要領で開催します。会員の皆様はもちろんのこと、非会員の皆さんも誘ってご参加ください。メールなどでお知り合いの皆さんに広く情報配信ください。

■北日本漁業経済学会 2015 年春季研究集会■

これまで北日本漁業経済学会は、東北と北海道を主な開催地として年 1 回の大会シンポジウムと一般報告を秋に開催してきました。地方での開催は道漁連や県漁連、および各県庁や水産試験研究機関と関係を密にする上では意義のあることでした。しかし一方で、東京近郊の会員にとっては旅費問題もあり、必ずしも参加が容易でない側面もありました。そこで、東京近郊や西日本の会員にも一般発表・会員交流の場を保障するとともに、水産関係者やマスコミの多い東京近傍での学会開催によって北日本漁業経済学会会員の研究活動内容をより広く知っていただくため、秋期大会とは別に春季研究集会を開催します。今回は、ミニシンポジウム、特別シンポジウムも企画しましたので、奮ってご参加ください。

と き：2015 年 4 月 24 日（金）10:00-17:20

ところ：東京水産振興会豊海センタービル 2 階会議室

交通：東京駅・有楽町駅から豊海水産埠頭行き終点バス停前

プログラム

●開会あいさつ

二平 章（北日本漁業経済学会会長）

●ミニシンポジウム：「増大しはじめたマサバの資源動向と流通」

10:05-10:10 趣旨説明

渡邊一功（JAFIC、コーディネーター）

10:10-10:35 マサバ太平洋系群・特に 2013・2014 年級群の資源動向

渡邊千夏子（水産総合研究センター中央水産研究所）

10:35-11:00 北部まき網によるマサバの漁業生産の現状と課題

田中弘太郎（太平洋北部まき網漁業組合連合会）

11:00-11:25 太平洋産マサバの急増下における市場流通・価格・輸出入動向

緑川 聡（漁業情報サービスセンター）

11:25-11:50 討論

昼食休憩 (11:50-13:00)

●一般報告 (13:00-14:40)

13:00-13:25 北海道コンブ類漁業の生産統計を用いた減産対策への潜在的ニーズの推定

船橋卓真 (北大院水)

13:25-13:50 未利用水面を利活用する新しい養殖魚の商流システムの開発

山下成治 (北大院水)・大串伸吾 (北大院農)

13:50-14:15 えりも漁協館内のゼニガタアザラシの秋サケ定置網被害に対する防除策をめぐって

和田一雄 (京大壺長研)・坪田敏男 (北大獣医)

14:15-14:40 浪江町の新しい水産業デザイン実現化事業にみる原子力災害からの水産復興

阿高麦穂 (東京海洋大学院)

休憩 (14:40-15:00)

●特別シンポジウム：「福島に農林漁業をとり戻す」(15:00-17:20)

コーディネーター 濱田武士 (海洋大学)

本年3月11日に『福島に農林漁業をとり戻す』(みすず書房)を上梓しました。本書では、原子力災害発生後の福島の農林漁業がどのような苦境に立たされ、どのような対応を図り、そして何が桎梏となっているのかを、生業の再生という視点から論じています。復興災害が多発する福島から地域開発にかかわる問題点も提起しながら、本書の内容について触れ、討論をしたいと思います。

15:00-15:10 本の紹介 濱田武士 (海洋大学)

15:10-15:40 福島に農業・農村をとり戻すー放射能汚染対策と風評問題ー

小山良太 (福島大学)

15:40-16:10 地域林業の原発被災と復興課題

早尻正宏 (山形大学)

16:10-16:40 原子力災害下の福島県漁業と汚染水問題

濱田武士 (海洋大学)

16:40-17:20 討論

★当日、当該書籍の販売も行います。

●研究集会参加費： 500円

●懇親会：17:30-19:00

豊海振興ビル 1階レストラン「GOTO」 (懇親会費2,000円)

連絡先：現地実行委員長 理事 渡邊一功 (漁業情報サービスセンター)

電話：090-5322-2411

メール watanabe@jafic.or.jp